

金山町成人式

8月14日、町農村環境改善センターで平成25年度成人式が開催されました。今年の新成人は、平成5年生まれで、男性43名、女性33名の計76名です。

二十歳の提言では、「いま見る地域の可能性～私たちが約束できること～」と題して朝日町情報交流推進員の佐藤恒平さんの講演がありました。(記念撮影は18ページ参照)

平成25年度成人式実行委員長
小沼 大樹さん(柳原)



成人式実行委員長として

実行委員長の小沼さんは、式典が始まる前、「久しぶりに会う人も多いので、この日を楽しみにしていました。参加者の心に残る成人式にするために実行委員の仲間と準備を頑張ってきたので成功すると思います。」と笑顔で話してくれました。

式典が始まると少し緊張した面持ちになり、たくさんのお祝いや激励の言葉を聞く姿がありました。

あいさつや礼儀の正しくできる大人に

出席者を代表して「家族や地域の人に感謝しています。ふるさとを愛し続け、これからも金山と関わっていきけるようにしたいです。あいさつや礼儀の正しくできる大人として頑張りたいです。」と力強くあいさつした小沼さん。

実行委員長としての責務を果たすと、同級生の仲間にながらこの言葉をかけてもらっていました。

成人者のみなさんから町へのプレゼント



ふるさとに自信と誇りをもって

成人式を迎えたみなさんおめでとうございます。男性のみなさんはすぐにわかりましたが、女性のみなさんはきれいになり、変わったのでわかりませんでした。

みなさんの中学時代、「母川回帰」と題して、ふるさと金山とかかわって生きていく心を培うため、「金山学」や「最上学」を地域の人を講師と一緒に学びましたね。

金山町は素晴らしいところ。当時は気付かず今になってわかること感じることもあるのではないのでしょうか。

故郷に誇りと自信を持って頑張ってください。若い世代の力で金山を背負い、これからも金山を愛し続けて人生を楽しんでください。



成人者が中学校時代の学年主任
矢部 暁先生
(現最上中教諭)



朝日町の名物ゆるキャラ「桃色ウサビ」 成人式の講師で金山へ!

講演 **いま見る地域の可能性**
～私たちが約束～

二十歳の提言、講師は朝日町情報交流アドバイザー兼朝日町観光協会理事の佐藤恒平さんでした。

朝日町をPRするために制作されたご当地キャラクターでピンクのウサギの着ぐるみでお馴染みの「桃色ウサビ」の中に入っている方です。

未完成なウサビを町民にプロデュースしてもらうことで、老若男女問わず多くの町民が気軽にアイデアを出しあえる環境を生み出すためにあえて無個性なデザインになっているということと、たくさんの方の事例を紹介してもらいました。

「20歳になるみなさんへ」と佐藤さんは30代がもつとがんばってみんなを応援することを約束。「もつと自分たちの下の世代の意見を取り入れたい。大人のために物申し、子どものために体を張れる大人になって生きていきたい。みなさんもそうであってほしい。」と語られました。

参加者の男性は、「佐藤さんの話にとっても感銘を受けた。自分も大人として地域でできることに参加したいと思った。」と目を輝かせていました。



大田市場(左)と今回参加したメンバー(右)



金山農協主催「金山特使」9年ぶりに復活!

8月9日・10日の2日間、町内農家の子どもたちが、東京大田市場などを回り、農業の学習を深める「金山特使」が9年ぶりに開催されました。

町内の小学5・6年生12名が参加し、初日は東京デイズニールランドで観光。2日目は大田市場や道の駅の産直施設を見学して回りました。

大田市場での見学では、その広さに驚き、また全国からたくさんの方々が運ばれてくる中、朝早くから多くの人たちが目まぐるしく動き回る情景や競りの様子などを見て興味深く観察していました。

市場見学の後は、ビデオを見ながら農家が生産した野菜などの流通の仕組みについても学習することができました。

充実した2日間を過ごした子どもたちにとっては、夏休みの貴重な思い出になったようです。

この中から将来の地域農業を支える立派な農業経営者が生まれることを期待したいものです。

次号では、子どもたちの感想を紹介します。